

政府の役割

- 基礎研究等の成果（論文などの「知」）は公共財、市場を通じた供給は困難。従って、**基礎研究振興は基本的に政府の役割。**
- 用途が特定されている応用研究は、その用途にニーズを持つ者（企業等）が実施するのが基本。但し、外部経済の存在、見通しの悪さ等、**市場が十分に機能しない場合には政府の関与が期待される。**

→ こうした中、近年、基盤たる学術研究とともに、根本原理を追求すると共に用途を考慮した研究（**用途を考慮した基礎研究**）が、**国の持続的な競争力の源**として注目されている。

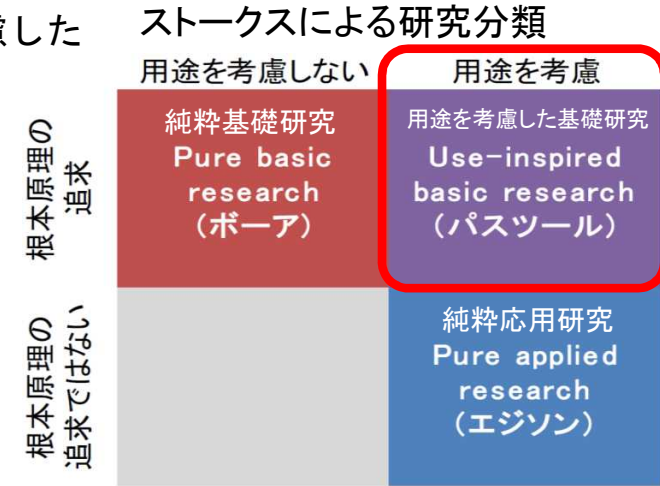
「用途を考慮した基礎研究」は、純粋基礎研究と純粋応用研究の性格を併せ持ち、次の2つのアプローチに分類可能。（本検討会の主たる関心はアプローチ①）

【アプローチ①】 **出口を見据えた研究** <主体は研究者>

- ・根本原理の追求のための純粋基礎研究から展開し、用途も考慮。
- ・研究者の自発意思に基づきつつも、社会経済的な視点、動機づけをも持ち込み、社会経済的価値を有する目標（出口）を見据えた基礎研究。

【アプローチ②】 **出口から見た研究** <主体は研究者以外>

- ・実用化を実現するための純粋応用研究から展開し、根本原理も追求。
- ・直面する明確な課題の解決（出口）のために必要な基礎研究を実施する場合あり。



※出典：科学技術政策研究所、一橋大学イノベーション研究センター、ジョージア工科大学(2011)
科学における知識生産プロセス：日米の科学者に対する大規模調査からの主要な発見事実（一部改変）

「用途を考慮した基礎研究」(=出口を見据えた研究/出口から見た研究)に必要な政府の戦略

「用途を考慮した基礎研究」の推進に当たっては**政府の戦略が必要**。必要な戦略は2つのアプローチにより異なる。

「出口を見据えた研究」に必要な政府の戦略

- 推進主体は根本原理の追求を目指す研究者であるため、**研究者の画期的な発想を、社会経済的価値を有する目標の実現につなげるための政府の戦略が必要**。（※固有の戦略が求められている）

「出口から見た研究」に必要な政府の戦略（※純粋応用研究に求められる政府の戦略と基本的に共通）

- 用途が特定されている研究であるため、**あえて政府が推進すべき理由**(外部経済の存在、見通しの悪さ等の「市場の失敗」)や、**適切な推進の方法**(「市場の失敗」への対処には、研究への直接支援の他にも税制、政策金融等の手段あり)等を示すための政府の戦略が必要。

《今後の検討課題》

- 近年注目される「用途を考慮した基礎研究」に求められる政府の戦略（政策）とは何かを検討することが重要。

- 特に「**出口を見据えた研究**」には、**他と異なる固有の戦略が必要であり、検討が必要**。（→本検討会の検討事項）

(検討例) 大きな社会経済的価値を生み出すような研究者の画期的な発想を発掘するための設計とは？

社会経済的価値を見据える際に考慮すべき観点（社会経済の展望、国際社会における日本の地位、影響力の大きさ等）とその方策は？

研究者による根本原理の追求と、社会経済的価値の創出とが両立可能な制度設計とは？